



## 中部労災病院神経内科にお世話になって

山田 茂広

2月2日火曜朝、最初の異変に気付きつ  
つも母を介護施設近くの医院で膝の血を抜  
くために出かけたところ、帰路の途中立ち  
寄ったスーパーで、右脚が重く一歩前に踏  
み出すことに困難を覚えました。

その後、別のスーパーに立ち寄って少し  
調子が良くなったら、家まで帰り休めば何  
とか回復するかも知れないと思いましたが、  
右脚がさらに重くなり不安がよぎりまし  
た。もしかしたら死ぬかも知れないとい  
う思いが募り、まず姉に電話をかけて、母  
のケアマネージャーに電話連絡してもらい  
ました。

その間に友人にも電話をかけ状況を説明  
すると、「そのような場合、救急車を呼ぶ  
べき」と、書いてあると言われました。そ  
れから、母のケアマネージャーから電話が  
入り、「救急車を呼んだほうが良いですよ。」  
と、そして、車を留めたスーパーに連絡と  
状況説明をして頂きました。防災警備員  
の方が探しに来てわたしを見つけると、救  
急車の手配をしてくださいました。

救急処置室で手厚い看護を受けましたこ  
とに心より感謝致します。救急スタッフの  
皆さんや心電図、エコー、CTやMRI映像を  
手がけるスタッフの方々にも感謝致しま  
す。

6階西病棟の神経内科に入院し治療を受  
けるにあたって感謝していることは、病院  
として医療組織として患者に対する医師の  
親身になって接してくださる姿勢と温かな  
気遣い、また親切なホスピタリティーが行  
き届いていることに満足致しました。

さらに看護師の方々の笑顔で思いやりの  
ある誠実で熱心な精神と振る舞いに感謝し  
ています。また、看護師のもとで働くスタッ  
フの方々、病室をきれいに清掃してくだ  
さっている方々の接し方にも感謝していま  
す。おいしい病院食を作ってくださってい  
る方々や配膳する際の心配りに感謝致しま  
す。

医師が患者の尊厳を重んじてくださっ  
て、処方された薬のため迅速に薬剤師を病  
室まで遣わし説明してくださったこと、ま  
た、薬剤師が親切な説明をしてくださり、  
嬉しく思っています。さらに栄養指導もス  
トレス無く受けられたことを嬉しく思いま  
す。

今回、理学療法士ならびに作業療法士の  
の方々のお世話にもなり、その方々の習得さ  
れた正確な知識において的確な療法を施し  
てくださいましたことにも深く感謝致しま  
す。